

管理棟の利用イメージ

管理棟に求める役割 ⇒ 『 公園の付加価値を高める存在 』

単純に施設・樹木の維持管理、利用受付、資材等の保全をするための場所ではない

■公園の楽しさ・魅力を発信する拠点であり、楽しさ・魅力を簡単に体験できる場所

- 公園でできること、楽しめることを知らせる・誘客につなげる場
 - 幅広いイベント・研修・講座・講演・販促展示などを積極的に行う
 - 遊びやイベントに使うツールを保管・貸出する(おもちゃ・移動ベンチなど)

■子どもから高齢者までが公園を楽しむためのコーディネートをする場

- 施設利用の受付・使い方のアドバイス

■見守る場・安心の場

- (普段) ➢公園を室内から見守る → 家族:外で遊ぶ子どもを見守る等
 - 休憩・休息
 - 公園での活動の疲れをいやすクールダウンの場・コミュニケーションの場
- (災害) ➢災害の時に一時的に避難する場所

■公園を見守る人・宣伝する人の集まる場所 ➢ボランティア・サポーター等

■施設の維持管理・樹木植物のプロが存在する場 ➢各種の相談に応じる場

公園内のロケーションを活かした管理棟のデザインと使い方

管理棟のデザイン：建物全面をガラスとし・内外をガラスでつなぐ

■安心・安全・休息

- ・外遊びをする子ども・家族を見守れる。(屋上も同様)
(乳幼児を連れてお母さんは管理棟内・お父さんはお兄ちゃんと外遊び)
- ・職員の目を外に向けられ、公園全体の見守りが自然に行える。

■管理棟内と公園全体が連携できる

- ・管理棟内の販促イベント等が外からも見ることができ誘客が図れる。
- ・外の緑や美しい風景を見ることができ、気持ちよく事業(研修・講習等)が行える。
- ・外部の楽しいイベントが見えることで、自分も楽しく使おうと思う気持ちが高まる。

■親しみやすさ・安心感

- ・施設が外に開かれ、内外の人の動きがわかり、親しみやすい施設となる。
(四季の変化が感じられ、気持ちよく過ごせる。管理棟に入りやすくなる。)
- ・管理棟の敷居が低くなり、身近になる。
- ・外から職員の働きぶりがわかる。職員のおもてなし意識が高くなる。
- ・壁だと楽しさが感じられない。近寄りやすい。

■雨の日に緑が楽しめる数少ない施設となる。(雨の日も公園へいこう)

日常シーン 使い方 イメージ

「こどもと」



子育て向けプログラムへ
0歳から公園と親しむ



画像：長門おもちゃ美術館より

妹が管理棟で少し休憩
元気なお兄ちゃんが外へ！
中からでも見守れて安心



写真：東京おもちゃ美術館HPより

暑い日も安心して遊ばせたい
休憩スペースの確保は絶対



写真：小浜こども園HPより

急に雨がふっても大丈夫
中でお弁当でも楽しい



写真：深芝小学校HPより

公園で勉強
気分転換ではかどる

日常シーン 使い方 イメージ

「おとなの」



写真:品川シーズンテラスカンファレンスHPより



会議をして、そのまま懇親会
移動時間無しでロケーションもいい、帰りも駅から近くて便利



散歩のついでにDog教室



写真フリー素材屋HoshinoHPより

いつもの公園でできた友達と
ゆっくり



写真:とよすとHPより

ひとりでふらっと
「のんびり」を楽しむ

日常シーン 使い方

イメージ

「アクティブに」



写真:熊本玉名パルクール協会HPより



「ナリケーン(上)」 「ピロポロ(下)」
写真:諏訪市児童センターHPより



写真:(一般社団法人)日本スポーツウエルネス
吹矢協会むさし国分寺支部HPより

新しいスポーツを楽しむ

公園でアウトドア体験、映画鑑賞 気軽に日常を非日常に



みんなでパーティー



思い出の一枚を公園で